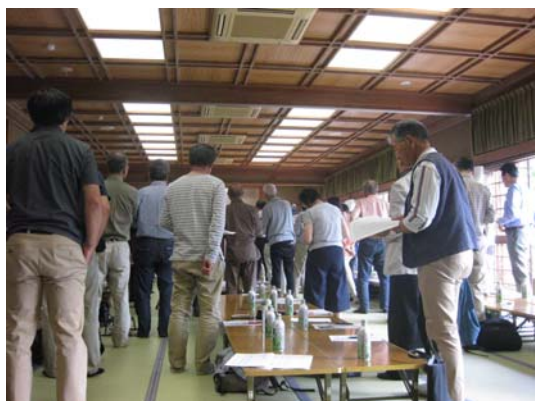


生徒が先生になる！！25年も続くコミュニティ活動「めだかの学校」

- 静岡県西部地域を主な活動場所としている活動団体「めだかの学校」は、地域の人と人とのつながりを大事にしようと結成され、1994年より取り組んでいます。
その組織は、校長先生がいて校歌があって、まさに学校そのもの！年に4回授業のほか、遠足や展示などもあり、交流を深めています。
授業では、科目によって毎回色んな生徒が先生になり進めていきます。
- 25周年100回目の記念授業が行われましたので、その様子を報告します。



鐘が鳴って、学校のはじまり
まずは、みんなで校歌斉唱！



100回記念は「大同窓会」と称して
周智郡森町にある小國神社で行われました。



生徒はなんと100名以上！当日はOBの方も参加し、全員が先生になり授業を行いました。
授業は、紙芝居があったり、道具を使ってみたり楽しい事業がいっぱい！



1回目の授業からすべてが掲載されている記念誌が発行されました。団体の歩みはもちろん、生徒さんたちの成長も見ることができます。



生徒のみなさんは、先生の話真剣に聞いています。

編集後記

- このような活動が大人数で長く続けている取組は珍しいと思います。
- みなさんの地区でも、まずは小さな範囲から、真似してみてもいいのではないでしょうか。